



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は9月18日(水) 第2577回例会 ■

会員卓話 澤田広志直前会長担当
「特定疾患について」
澤田広志直前会長

※RCレート 9月1日より 1\$ 145円

■ 次週の予定 ■

9月25日(水) 指定休会
10月2日(水) 四大祝福 SAA担当
第2578回 会員卓話 大橋俊彦SAA
10月10日(水) 滝川・砂川合同夜間例会 親睦活動委員会担当

第2576回例会記録 2024年(令和6年)9月11日(水) 晴れ 「4つのテスト唱和」「それでこそロータリー斉唱」

- ・ゲスト紹介 北海道銀行砂川支店 支店長 井手信弘様
- ・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません。

会長報告

会長 高坂 誠

①再度報告

国際ロータリー第2510地区より地区大会開催のご案内が届いております。

日時：2024年11月10日(日)

場所：グランドメルキュール札幌

②(株)エフエムなかそら様より秋の交通安全ラジオCM協賛広告の依頼が届いております。

幹事報告

幹事 中村 和弘

①羽幌ロータリークラブより8月会報が届いております。

委員会報告

社会奉仕委員会 委員長 田中 敏文

社会奉仕委員会よりご連絡させていただきます。

砂川市交通安全推進委員会より

砂川市民を交通事故から守る一斉旗の波運動の参加依頼を頂いております。

9月27日(金)午後2時半～3時、砂川市買い物駐車場A i A i 北側でセレモニー終了後に国道12号線沿いで行います。

出欠表を配布致しますので、宜しくお願い致します。

親睦活動委員会 委員長 吉藤 秀邦

親睦活動委員会よりご連絡させていただきます。

10月10日(木)18:00より、滝川ロータリークラブとの合同例会を開催致します。本日、出欠表を配布しておりますので、ご記入ください。なお、出席される方は、バスを手配しておりますので、送迎の有無もご記入ください。バスは砂川パークホテルより17:30に出発致します。乗車される方は17:20までに集合ください。

例会

ゲスト卓話

社会奉仕委員会担当

ゲスト紹介 田中敏文社会奉仕委員長

本日のゲストを紹介させていただきます。
北海道銀行砂川支店支店長、井手信弘様です。

井手様の経歴についてご紹介させていただきます。
1981年4月12日 43歳 江別市出身で御座います。
2004年に小樽商科大学を卒業後、北海道銀行に入行、恵庭支店に着任

2006年に本店営業部に着任

2009年、カラカミ観光(株)に経理部部長として出向されております。

2012年に旭川支店、2015年には東京支店に支店長代理として着任

2017年に北二十四条支店、2019年に函館支店に支店長代理として着任

2022年には(株)テーオーホールディングスに執行役員経営企画部シニアマネージャーとして出向されております。

2024年6月に北海道銀行砂川支店長として着任し現在に至っております。

本日の卓話は、ほくほくフィナンシャルグループ ゼロカーボンへの取り組みというテーマで御座います。それでは井手様、宜しくお願い致します。

テーマ 「ほくほくフィナンシャルグループ

ゼロカーボンへの取り組み」

井手 信弘 様

ただいまご紹介に預かりました北海道銀行砂川支店の井手と申します。

平素は砂川ロータリークラブの会員の皆様には大変お世話になっております。本日はこのような貴重な機会をいただき、心から感謝いたします。

さて 本日は「ほくほくフィナンシャルグループ ゼロカーボンへの取り組み」として弊行が行っているSX推進についてお話ししたいと思います。

最近ではSX、GX、DXなど似たような言葉が多く、混同してしまいがちですが「SX」とはサステナビリティ・トランスフォーメーションの略であり、気候変動対策、海や陸の資源保護、人権やジェンダーなど多岐に渡る内容について、持続可能な社会を実現するために企業の経営戦略を変換し、企業価値の向上を目指すという考え方です。

弊行では持ち株会社のほくほくFGにSX推進部を設立し、その下部組織としてGX(グリーン・トランスフォーメーション)推進グループを設置しています。弊

行グループでは自社で排出した温室効果ガスを様々な方法で相殺して実質ゼロとするカーボンニュートラルを2030年度に達成することを目指しています。

事業活動によるCO₂の排出を極力減らす「脱炭素経営」によって、①取引先との信頼強化、②コスト削減、③人材獲得にプラスの影響があります。「脱炭素経営」への第1歩はCO₂排出量を測ることであり、その結果を踏まえてどのようにCO₂排出量を減らしていくかを考えることが重要です。

ほくほくFGでは燃料の使用による直接的な排出(scope 1)、自社が購入した電気などによる間接的な排出(scope 2)について測定を行っており、2023年度については2013年度対比で▲50.9%と大幅に削減をしています。

また、2030年度のカーボンニュートラルの達成に向けて社用車のEV化を50台以上、HV化を170台以上行うとともにカーボンニュートラルガスの追加購入、カーボン・クレジットの購入などを行っていきます。また、店舗のZEB(ゼブ)化を10店舗以上、店舗の建替やLED化による省エネを90店舗以上、再エネ由来電力の追加導入、非化石証明書の購入も行っています。

具体例としては2025年11月に移転予定の北海道銀行留萌支店です。新しい留萌支店は外断熱及び高性能ガラス、寒冷地対応の高効率空調機を完備しており、LED照明、明るさ検知機能などの導入によりZEB認証取得を予定しています。また、店舗の営業車はEV車として店舗にEVスタンドも設置します。今後、店舗の移転・新築などの際はこの形がスタンダードモデルとして展開していくことになると考えられます。

次に再生可能エネルギーの活用です。太陽光発電はほくほくFGとして富山県富山市と北海道白糠町に「ほくほくソーラーパーク」を展開しています。白糠町についてはこの秋から運転開始を予定しており、北陸銀行9店舗+北海道銀行33店舗の合わせて42店舗の電力を賄うこととしています。これはほくほくFGの北海道内消費電力の25%に相当し、年間約1,300トンのCO₂削減効果を見込んでいます。

そのほか、北陸銀行ではカーボンクレジットの活用や森林由来の地産地消クレジットの活用も行っています。

北海道銀行では「脱炭素」を経営に活かす取り組みを支援しています。脱炭素経営のメリットとしては「コスト削減」「販路の拡大・開拓」「ブランド力の向上」「補助金など支援の利用」などがあげられます。

脱炭素への取り組み方としては知る・測る・減らす・創る・開示するという基本的な流れがあります。北海道銀行ではこの流れのそれぞれの段階においてお役に立てるようなソリューションをご用意しています。

ソリューションの中身について、いくつかかいつまんで説明いたします。

まず「知る」の欄にSDGs評価サービスがあります。これは企業内のSDGs理解促進と企業の目標設定について弊行がサポートを行うサービスであり、サービス開始以降百社以上のお客様にご利用いただきました。

「測る」では排出量計測のクラウドサービスを展開し

ている会社様をご紹介することが可能です。砂川市内でも弊行の紹介により導入いただいた会社様もございます。

また、ファイナンスにある「スリーターゲッツ」はSDGsに取り組む幅広い事業者様を対象にしており、SDGsに関する11の定型目標より3つをご選択いただきます。ご選択した3つの目標のうち、一定期間中に2つ以上達成した場合、適用金利を0.1%引き下げする商品です。

現在、上場企業では気候変動に関する情報開示が義務化されています。このような中で、世界では国際サステナビリティ基準審議会が自社のサプライチェーンを含めた温室効果ガスの排出量(scope 3)の開示義務化を確定しました。これにより、日本においても東証プライム上場企業などがscope 3を含めた情報開示義務を課せられることが議論されており、数年後には実行される見通しです。これは、将来的には中小企業でもプライム上場企業と商売するにはCO₂排出量の測定を求められることに繋がります。

近年は毎年のよう高温となり、大雨などの災害がどこかで発生するなど異常気象が当たり前となってきました。脱炭素経営は1社だけの課題ではなく社会全体から求められているものです。今回をきっかけに、皆様が省エネなどでPLを改善しながら経営力を強化する脱炭素経営を考えてみる切っ掛けになれば幸いです。

本日はご清聴ありがとうございました。

出席報告

委員長 堀江 和美

第2576回例会

※在籍数 41名 ※出席規定免除 2名

※本日出席基数 40名 ※本日欠席者数 7名

※本日出席率 82.50%

※本日欠席者 佐藤文優会員、阿部憲道会員
永森直弘会員、染谷 昇会員
村上雅拓会員、飯澤明彦会員、小野志伸会員

ニコニコボックス

※井手支店長、本日は大変お忙しい中卓話誠にありがとうございました。 高坂 誠会長

※井手支店長様、本日は卓話ありがとうございました。 田中敏文会員

※ポールハリスフェロー4プラスをいただいて。

瓜 俊雄会員

本日のニコニコBOX 6,000円 累計額 379,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標 14,000円/人

本日 円 累計 191,000円

※ロータリー財団：目標 230\$/人

本日 \$ 累計 2,147\$

ガバナー月信

QRコード



本号担当：武田 昭二 次号担当：武田 昭二

事務局：砂川パークホテル内 (Tel.0125-52-3989)

会長 高坂 誠 幹事 中村 和弘

欠席届は前日昼迄に大橋俊彦SAAまで (Tel.74-6163・FAX74-6164)